

鹿児島県屋久島沖における米軍オスプレイの事故について

概 要

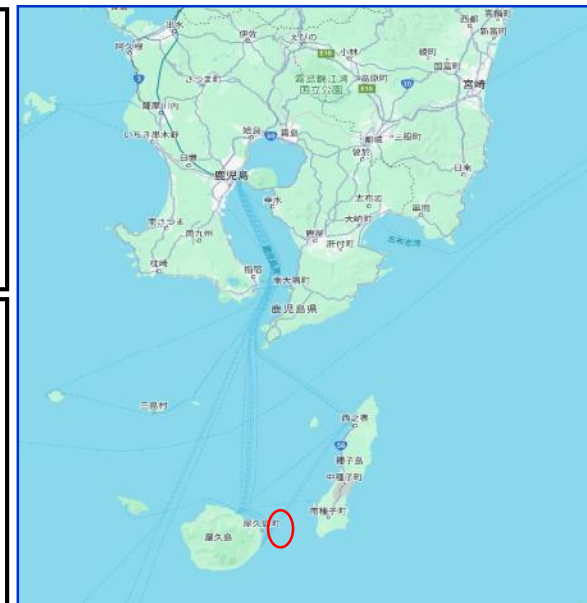
- 令和5年11月29日1440頃
- 鹿児島県屋久島東側の沖合にて、訓練中の米空軍横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が墜落
- 乗員は8名(うち1名(横田基地第363情報・監視・偵察航空団所属)は死亡を確認、また、要救助者と見られる5名が発見されており、うち2名が収容された)
- 飛行経路は岩国基地～嘉手納基地

現地における自衛隊及び海上保安庁の対応

- 11月29日 1447頃、海上保安庁第十管区海上保安本部が巡視船・航空機を発動
- 11月29日 1458以降、陸海空自衛隊の航空機等が搜索救難活動を開始
- 11月29日 1600頃、十管区所属の回転翼機が現場海域に到着し、機体の残骸等を確認
- 11月30日 松本防衛大臣政務官が屋久島町長、屋久島漁業組合長、鹿児島県知事を往訪し、お詫び及び事故の説明を実施
- ※その他、現地調整所において必要な調整を実施
- ※米軍は、空母カール・ヴィンソンとその航空団、ダイバー、無人機及び搜索救助専門家が含まれる救難部隊を派遣し、航空、海中、海上及び沿岸で搜索救助

日米の主なやりとり

- 11月30日 大和防衛省地方協力局長⇒ラップ在日米軍司令官
- 11月30日 上川外務大臣⇒エマニュエル駐日米国大使
- 11月30日 木原防衛大臣⇒ラップ在日米軍司令官へ要請
国内に配備されたオスプレイについて、搜索救助活動を除き、飛行にかかる安全が確認されてから、飛行を行うよう要請するとともに早期の情報提供を求めた
- 12月1日 米側からの説明
 - ・ CV-22の飛行を行っていない
 - ・ 日本に配備されている全てのオスプレイは、徹底的かつ慎重な整備と安全点検を行った上で運用
 - ・ 事故に関する可能な限り詳細な情報を透明性をもって共有
- ※陸自オスプレイは、事故の状況が明らかになるまでの当面の間、飛行を見合わせる
こととしている



CV-22オスプレイ



(出典：米国防総省HP)

全	幅	25.8m
全	長	17.4m
全	高	6.73m
最大離陸重量		約24,000kg
最大巡航速度		約446km/h
乗務員+搭乗者数		4名+24名

(出典：米空軍ファクトシート)

※ 数値等は全て速報値のため、今後変更される可能性があります。